

外部評価軽減要件確認票

【重点項目への取組状況】

重点項目	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2） 小学校のソフトボール大会を見学に行ったり、ホームで地域対象の口腔ケアセミナーを開催するなど、地域参加に力を入れている。 漫談やマジックのボランティアも訪れている。	評価
重点項目	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3） 運営推進会議は2ヶ月毎に行われているが、会議の時間帯が夜間に設定されるため、利用者や行政担当者の参加がない。 ホームからの報告が会議の主体であり、本来目的を果たす機能を発揮しているとは言えない状況である。	評価 ×
重点項目	市町村との連携（外部評価項目：4） 退居をめぐり、利用者家族の受け止め方とホームの考え方に相違があり、苦情の発生となった。市の担当者と連絡を取り合い、時間をかけて解決を見た。	評価
重点項目	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6） 家族アンケートではホーム運営に対する家族の無関心さが露呈する結果となったが、ホーム独自で嗜好調査を実施するなど、サービスの向上に対して意欲的な取組みがみられる。 介護計画の作成時に家族を同席させる等、利用者本位の支援を目指している。	評価
重点項目	その他軽減措置要件 「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。 運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	評価 ×
総合評価		×

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

市の方針から、運営推進会議へ行政担当者の出席がない。また、夜間の時間帯に開催されることから、利用者の出席もままならない状態である。

1. 外部評価軽減要件

別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。

運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。

運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。

別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件 における県の考え方について

外部評価項目2、3、4については1つ以上、外部評価項目6については2つ以上の取組みがなされ、その事実が確認（記録、写真等）できること。

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	（例示） 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	（例示） 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	（例示） 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	（例示） 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

（注）要件の確認については、地域密着型サービス外部評価機関の外部評価員が事実確認を行う。